

【令和3年度 新しい未来の庁舎のあり方等調査業務】 今後の進め方※最終報告のイメージ

中間報告では、ポストコロナ時代に求められる庁舎機能を提示した。今後は、更なる調査・研究に加え、清水のまちづくりにおける庁舎の役割を見直し、年度末には最終報告として「新しい清水庁舎のあり方」を示していく。

最終報告については、まず、静岡市の3庁舎共通項目として、中間報告を基に、導入すべき具体的機能や必要面積をシミュレーションして提示する。

次に、来庁者調査などの意見や、まちづくりの変化を踏まえ、現計画との相違点を洗い出し、令和4年度からの議論のベースとなる「新しい清水庁舎のあり方」を示していく。

中間報告（ポストコロナ時代に求められる庁舎機能）

他庁舎への反映

清水庁舎の検討

新しい清水庁舎のあり方

- ・ 市民サービス機能
- ・ 執務機能
- ・ その他

<導入すべき具体機能の提示>

- ・ 感染症対策
- ・ ABW
- ・ 出勤率
- ・ ペーパーレス化(バックヤード)

面積への影響検討

<面積算出の考え方の提示>

<必要面積のシミュレーション>

3庁舎共通項目

新清水庁舎建設基本構想

- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●

新清水庁舎建設基本計画

- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●

清水のまちづくりの変化

- ・ (例) 桜ヶ丘病院の移転
- ・ (例) ENEOS(株)との協定締結
- ・ ●●●●●●●●

変わらない項目

- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●
- ・ ●●●●●

変わる項目・追加すべき項目

- ・ ▲▲▲▲▲
- ・ ▲▲▲▲▲
- ・ ■■■■■■

新しい清水庁舎のあり方

- ・ ○○○○○○
- ・ ○○○○○○
- ・ ○○○○○○

清水庁舎